

湘南大庭地区郷土づくり 推進会議たより

第13号

2019（平成31）年3月31日
編集・発行 湘南大庭地区郷土づくり推進会議
「事務局」 湘南大庭市民センター
Tel. 0466(87)1111

湘南大庭地区全体集会在開催されました！

2019年2月9日（土）大雪の予報の中、湘南大庭市民センター小ホールに71名の方が足を運んで下さいました。今回の全体集会是2部制で行いました。

1部は『住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭』を目指してのまちづくりについて、川村議長より全体報告を行いました。その後3つの検討チームの報告がありました。

健康増進チーム

ラジオ体操の普及、定着
健康増進講演会、相談会の実施



委員の自己紹介

広報・情報機器活用チーム

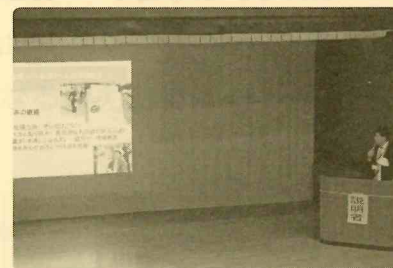
ポータルサイトの活用、充実
安全、安心のための情報機器活用



議長挨拶

地域づくり推進チーム

高齢者などを見守る仕組みの構築
共に支えあう地域づくり



チームリーダーの報告の模様

2部は『湘南大庭の福祉の未来を考える』と題し、社会福祉法人聖隷福祉事業団藤沢愛光園より3名の方にご出席いただき「地区内介護施設での看取り例」について講演をしていただきました。その後、川村議長、CSWの樋口さん、愛光園介護福祉士の菅野さん、委員の菅原さんの4人のパネラーと会場の皆さんでパネルディスカッションを行いました。

身近で切実な問題だけに活発な意見交換となりました。



愛光園職員による事例報告



パネルディスカッションの様子

湘南大庭地区の高齢化率は30%を超え、超少子高齢社会に向けての準備が迫られてきました。藤沢市が掲げる藤沢型地域包括ケアの実現のため地域医療・福祉・介護・保健のネットワークをより広げていくことと同時に、『湘南大庭地区全体』で支える意識が大切であり、私たち住民一人一人も『当事者としての意識』を持つことが「住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭」の実現に必要なだということを感じました。

いずれ誰にでも介護が必要な時期が訪れます。その時、自宅・病院・介護施設での生活のいずれを望むのかの選択。そして看取りには費用負担の準備が必要です。

まず、介護で困ったときは、『いきいきサポートセンター』へ連絡を、という心強い呼びかけがありました。



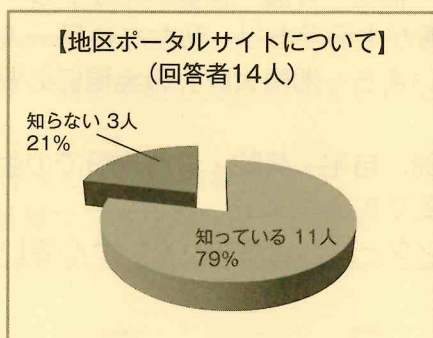
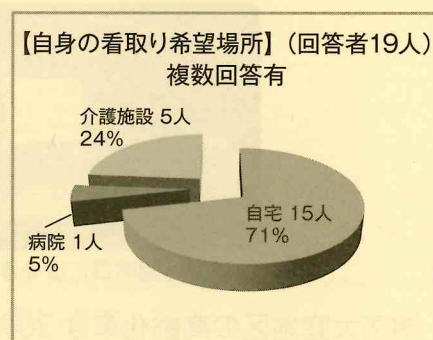
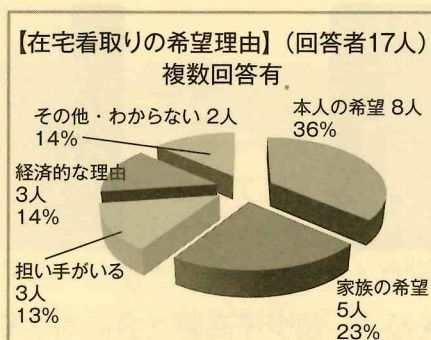
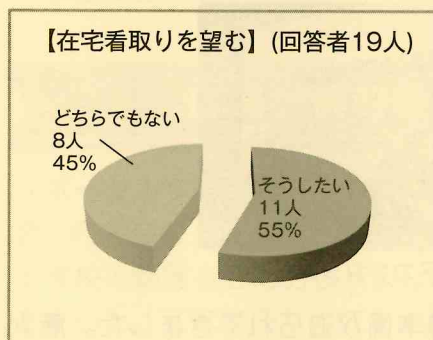
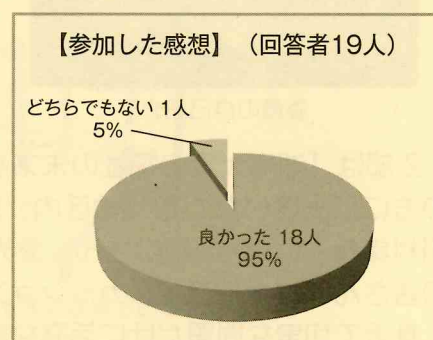
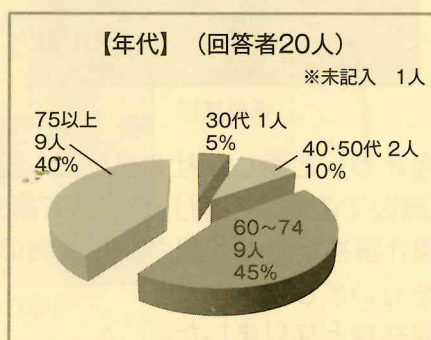
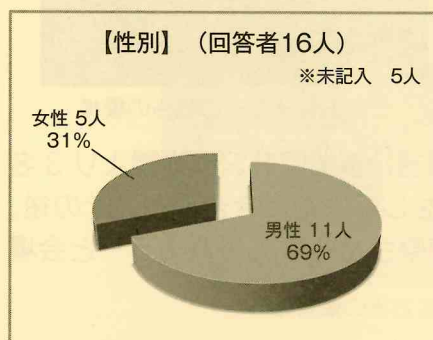
パネルディスカッション報告 湘南大庭地区 CSW 樋口

第2部のパネルディスカッションの進行役をさせていただきました。まず、川村議長から湘南大庭地区の高齢者施設に関する具体的な状況の報告、そして『率直に…聖隸さん、いくらかかるの?』というざっくばらんな投げかけがあり、普段地域で私たちが身近にやりとりしている雰囲気そのままに、会場がフンワリひとつになって始まりました。

年を重ねても住み慣れた大好きな湘南大庭に「住みたい、住み続けたい」。生活そのものを「なじみの」環境の中で続けていけること。これは「自助」力と「人」との関係を持ち続けるということです。そのためには自分に合った住まいと、自分の生活に必要な支援（サービス）を受けられる環境が、地域の中に互助・共助・公助それぞれ整っていること、それに応じた経済力も含めて個々の状況に応じたオーダーメイドの調整が必要になるでしょう。自宅?施設?残った妻は?心配の相談にのってくれるの? 等そんなやりとりができた2019年2月9日は、湘南大庭地区に住んでいらっしゃる皆さんが、これからの自分の未来を、地域にある市民センターを拠点に、多職種の専門職たちと共に、地域の中でざっくばらんに相談しあっていけるという可能性を確信した、歴史に残る貴重な一日だったと信じてやみません。

全体会議の論議やアンケートから見てきたこと

平成30年度湘南大庭地区全体集会アンケート等集計結果
(参加者71人中21人回収)



【地区ポータルサイトに掲載希望の情報について】(回答者13名) 複数回答有

①青少年	8人	②防犯	11人
③イベント	7人	④交通	6人
⑤福祉	10人	⑥ニュータウン再生	8人
⑦環境	7人	⑧防災	12人
⑨公民館	8人	⑩その他	6人

全体会議の論議やアンケートから見えてきたこと

今回は初めて2部構成で実施しましたが、特に第2部の「地域の高齢者施設における看取りの現状と課題」についてのご質問・ご意見を多くいただきました。アンケートにお答えいただいた方々に感謝します。

アンケートからは、住み慣れた自宅での看取りを望んでおられる方が多く、「子供に負担をかけたくない」と思いながらも、まだ切迫した自分事として考えていない方々が少なくないと推察できます。自由記述を含めたアンケートの集計結果から今後の方向性をまとめると、おおよそ次のようになります。

1. 現行の地域の様々な施設・施策と活用の仕方を共有すること **「まずは知ろう！」**
 - (1) 高齢者支援の相談窓口
 - (2) 湘南大庭地域にある高齢者施設と支援内容
 - (3) 湘南大庭地域にある子ども支援施設・活動
 - (4) そのほかの交流施設・活動
2. 情報を共有するための有効な方策の研究 **「どうすれば届く？」**
 - (1) 情報提供方法の課題と改善
 - (2) 新たな情報共有方策の研究・実践
3. 郷土づくり推進会議のあり方・全体集会等の持ち方 **「参加したくなる魅力ある活動」**
 - (1) これまでの推進会議で提案してきた事柄の整理
 - ・ 取り組み・進捗状況
 - ・ 市長への提言の強化（在宅医療の推進、ライフタウンの再生等）
 - (2) 普及・定着を図るための取り組み事例の実践・交流の機会を増やすこと
4. 地域諸団体や機関、学校等との連携

以上、多岐にわたりますが、これらの中から次年度には、緊急性・効果等を考慮して内容を検討した上で取り組んで参ります。

湘南大庭地区の再生と将来像について

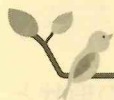
1975～85年の高度成長期に移り住んだ人々で多くが構成されている湘南大庭地区は緑豊かな住宅地であり、住み続けたい街としての魅力からか、今では市内で最も高齢化率の高い地区となっております。当然ながら経年とともにインフラの老朽化、住宅の老朽化も進んでいるといえます。

湘南大庭地区は、開発後50年程度経過し、まちの老朽化の進行とともに、「これからのまちづくり」を考えなければならない時期といえるのではないのでしょうか。

2018年末、市の計画建築部から藤沢市住宅マスタープラン案が提示され、これを受けて2019年2月に湘南大庭地区の地域団体関係者と市との意見交換会が行われました。

意見交換会の中では、湘南大庭地区の再生の取り組み主体となる関係者の連絡・調整の場（勉強会・連絡会・協議会など）を創設し、ハード・ソフト面の将来について検討していこうという結論に達しました。

住民お一人お一人が私たちと共に、湘南大庭地区の将来について「どうあるべきか」「どう行動すれば良いか」考えていただきたいと思います。



新年度の取り組み



地域づくり推進チーム

藤沢市が掲げる『全世代対応型福祉』を見据えての取り組みを

- ①湘南大庭地区の現状と課題についての調査・研究
- ②他の地域団体や地区内の学校や公共機関・近隣大学と連携し、地域課題解決のための各種事業を行う。
- ③超少子高齢社会、まちの老朽化への対応を図るため、勉強会・研修会を開催する。
- ④継続して、互助の仕組みである地域福祉協力員の募集、アプリ等の検討などにも取り組んでいきたいと思っています。

健康増進チーム

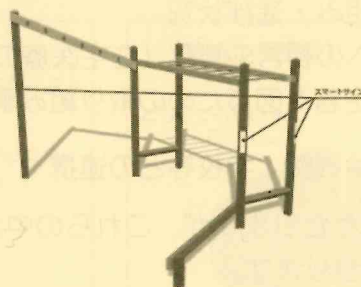
健康寿命を延ばし明るい社会を形成するための活動をしていきます。

- ①ラジオ体操の普及など
- ②健康遊具の設置および実技講習会の実施



五輪音頭の実技体験の様子

〈うんてい+ジャンプタッチ+へいきん台〉
姿勢を良くし肥満防止へ



平成 30 年度の遊具（台谷公園）

- ③健康相談事業の実施

広報・情報機器活用チーム

ポータルサイトをたくさんの方に必要なものとして見ていただけるよう、情報発信をする団体・自治会・町内会の HP の開設及び内容の充実に向け、来年度も講習会を開催していきたいと思っています。また、小学校の保護者会におじゃました時に、お母さん方がポータルサイトを見たことがないということに驚きました。ご家族のためにも、地域の情報を適切に活用して欲しいと思います。

今回、意見・質問用紙でご提出していただいたものは、多数の方が同一意見となったものは、ございませんでした。

地域の皆様より、湘南大庭のまちづくりに関する、アイデアやご意見を募集しています。いただいた貴重なご意見等を参考に今後のまちづくりに活かしていきたいと思っています。

